

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2376200172
事業所名	グループホーム 稲武の家

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい (外部評価項目: 2)	評価
	今年度、初めての試みとして、事業所の駐車場で地域とグループホームとの合同防災訓練を行い、区の役員や消防団、老人クラブの人達を含め、40人程の参加があった。その際に事業所内に入ってもらい、ホームの様子を見てもらっている。また、秋には老人とのふれあいをテーマとして小学校へ招待されており、一緒に遊んだり子供たちと車イスの使い方などの勉強をする予定である。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み (外部評価項目: 3)	評価
	年6回2ヶ月ごとに行なわれており、防災訓練の議題の時には区長にも出席してもらっている。ホームの非常時災害における体制図を作成し、区の委員会で災害時の区との連携について話した。また、民生委員の紹介でふれあいサロン応援講座に利用者も参加するなど、会議の出席者より地域の行事の情報を得ている。	○
重点項目③	市町村との連携 (外部評価項目: 4)	評価
	包括支援センター主催の「徘徊模擬訓練」が「稲武の家」の利用者がいなくなってしまうとの設定で行なわれた。また、介護サービス事業者講習会や稲武地区ささえあいネットワーク会議などに出席して情報の共有に努めている。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映 (外部評価項目: 6)	評価
	家族会は年2回実施され、家族の参加は年々増えている。家族会で終末期の対応について話したところ、家族がそれぞれに終末期について考えるようになった。年1回嗜好調査を実施し、利用者の希望に答えられるよう努めている。年4回各利用者ごとの様子を書いた手紙を家族に出している。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
総合評価	○	○	○	○	○	◎

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況 (外部評価) が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目2、3、4については1つ以上、外部評価項目6については2つ以上の取り組みがなされ、その事実が確認 (記録、写真等) できること。

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的 (年2回以上) に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的 (年2回以上) に発行されている。

(注) 要件の確認については、地域密着型サービス外部評価機関の外部評価員が事実確認を行う。